

序論

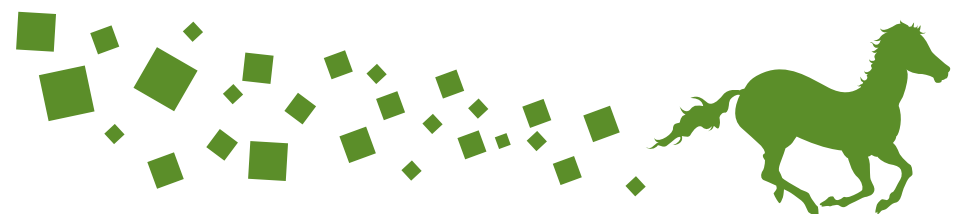
総合計画の目的や役割、構成や期間など基本的な内容を示すものです。

第1章 総合計画の概要

第2章 基本構想

第3章 本市を取り巻く社会情勢と環境

第4章 前期基本計画の振り返り





| 1 | 総合計画について

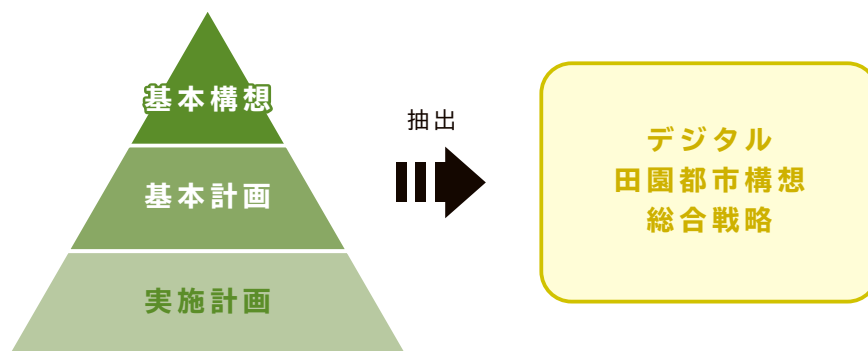
総合計画とは、市の目指す将来像とその実現に向けた基本的な方向性を示すものです。本市では、市民が共有できるまちづくりの目標となるよう、2019(令和元)年度に「第3次美馬市総合計画」を策定しました。基本構想では、基本理念「ともに未来をつくる」と将来像「美しく駆ける活躍都市 美馬～住み続けたいまちをめざして～」を定め、各分野の基本的な方向性として、5つの基本方針を掲げています。そして計画期間を2020(令和2)年度から2024(令和6)年度とする前期基本計画を策定し、将来像の実現に向けてさまざまな施策を実施してきました。

| 2 | 後期基本計画について

後期基本計画は、前期基本計画の達成状況や新たな課題などを踏まえ、将来像の実現に向けて今後推進する取組内容や成果指標を示したものです。

計画期間は、2025(令和7)年度から2029(令和11)年度までの5年間とします。

| 3 | 総合計画の構成



基本構想

市の長期的な基本理念と将来像のもと、その実現のために必要なまちづくり構想の大綱を示すものです。計画期間は2020(令和2)年度から2029(令和11)年度までの10年間としています。

基本計画

基本構想に基づき、今後実施していく各分野の基本的な方針と施策について、総合的、体系的に示すものです。後期基本計画の計画期間は、2025(令和7)年度から2029(令和11)年度までの5年間とします。

実施計画

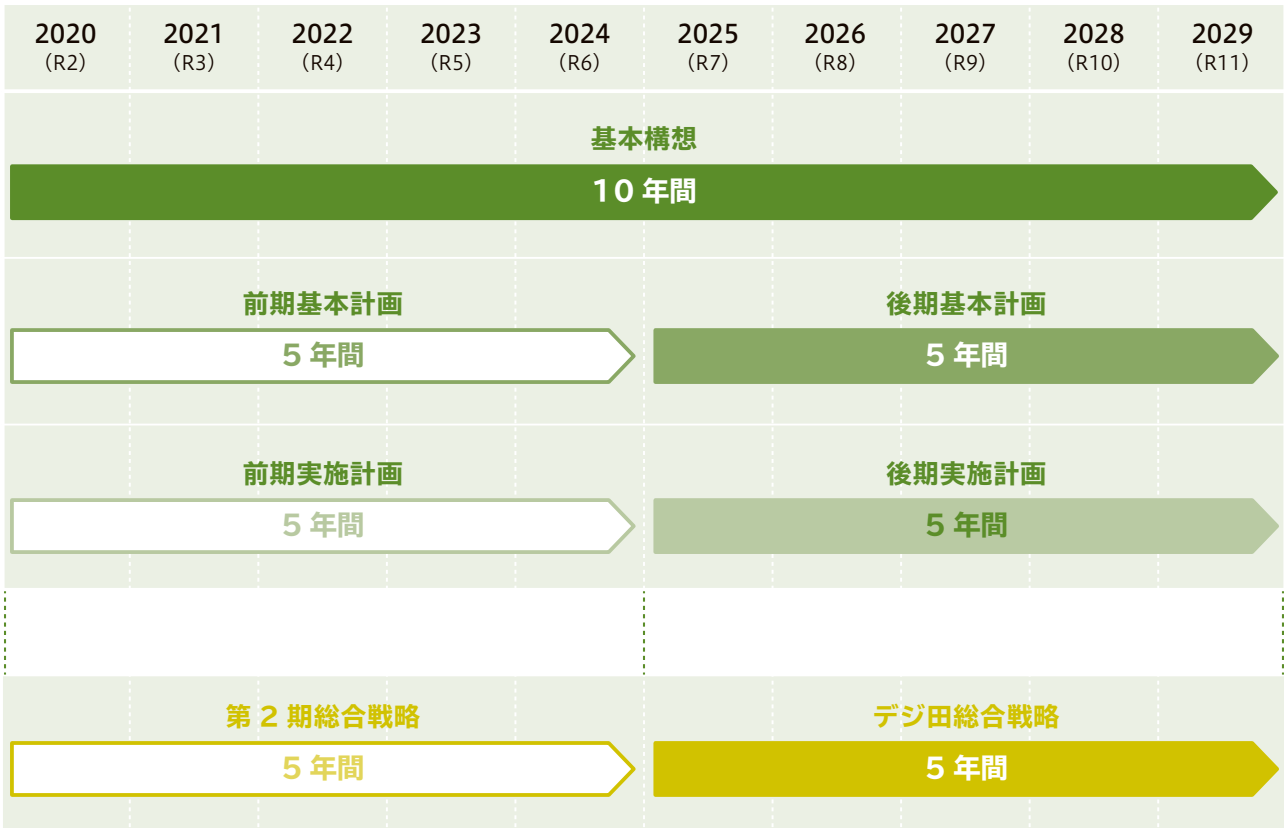
基本計画に基づいて実施する施策について、事業の優先度や諸制度の動向、財政状況などを考慮して実現可能な計画として示すものです。計画期間は基本計画と同じとし、毎年度見直しを行います。

総合戦略

「まち・ひと・しごと創生法第10条」に基づき、「美馬市人口ビジョン」で描かれる将来人口の実現に向け、地方創生関連施策の目標及び基本的方向を定める計画です。本市では総合計画と整合性のとれた計画とすることから、両者を一体的に策定し、「美馬市デジタル田園都市構想総合戦略」(以下、「デジ田総合戦略」という。)として、計画期間は基本計画と同様、5年間としています。

| 4 | 計画の期間

後期基本計画の期間は、2025(令和7)年度から2029(令和11)年度までの5年間とします。





| 1 | 基本理念

『ともに未来をつくる』

まちづくりの主役は一人ひとりの市民です。市民と行政は、それぞれがまちづくりの担い手として主体的に活動していくとともに、お互いの信頼関係のもとに協調し合い、役割を分担しながら、共通の目標の達成に向けて取り組んでいきます。

| 2 | 将来像

『美しく駆ける 活躍都市 美馬』
～住み続けたいまちをめざして～

美馬市の未来を市民と行政が力を合わせて創り、生み出すことで、誰もが健康で活躍できるまちを目指します。そして、地域の歴史や文化、自然に誇りを持ち、いつまでも住み続けたいまちを将来像に掲げます。

| 3 | 基本方針

将来像の実現に向けて、各分野で取り組む基本的な方向性を示すため、以下の5つの基本方針を設定しています。

— 1 (人権 / 福祉・医療 / 子育て / 教育 / スポーツ)

未来へつなげる！

市民の誰もが思いを実現し、健康で活躍できるまちづくり

個々の多様性を尊重し、全ての人々が健康に暮らせる地域づくりを進めます。また、子どもたちの成長を支えるため、子育て環境の充実や個性・創造力を育む教育を推進し、「子育てしやすいまち」を目指します。さらに、地域での学習やスポーツ活動の機会を充実させ、住民の生活が豊かになるまちづくりを進めます。

— 2 (産業・経済 / 観光 / 交流)

元気な美馬！

賑わいがあり「ひと」と「しごと」が好循環するまちづくり

移住・定住促進や関係人口の創出を通じて人を呼び込み、世界農業遺産「傾斜地農耕システム」や日本遺産「阿波藍」などの観光資源を活用して、「儲かる」観光を推進し、賑わいを生み出します。また、農業、林業、商業、工業などの地域産業の支援や企業誘致によって雇用を創出し、人と仕事が好循環するまちづくりを進めます。

— 3 (防災 / 社会基盤 / 地域コミュニティ)

未来の暮らしを守る！

安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり

安全で安心な生活を確保するため、自助・共助・公助の連携による防災・減災対策や防犯対策の強化に取り組み、市道や上下水道、公共交通などのインフラの整備・維持を進め、快適で暮らしやすいまちづくりを進めます。また、市民が主体的にまちづくりに参加できるよう、自治会など地域コミュニティの充実と活性化を促進します。

— 4 (自然環境 / 歴史・文化 / 国際交流)

好きです美馬！

市民が地域に愛着と誇りを持てるまちづくり

剣山や穴吹川などの自然環境を保全するとともに、歴史や文化財、伝統文化の継承を進め、身近に触れる機会を創出することで、市民がふるさとへの愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。また、国際交流を通じて異なる言語や文化への理解を深め、多文化共生の意識を醸成し、ともに地域で暮らす環境を整えます。

— 5 (市民参画・協働 / 行財政運営)

未来のために！

市民と行政がともに進める持続可能なまちづくり

「誰もが住み続けたいまち」の実現に向け、市民の市政参画や情報提供を通じて信頼関係を深め、協働のまちづくりを進めます。また、限られた財源や人材で効果的な施策を推進するため、人材の確保・育成や、行財政運営の効率化を進めます。



1) 少子・高齢化、人口減少社会の到来

我が国の人口は、2008（平成20）年をピークに減少し始めました。2024（令和6）年4月1日現在の人口推計（総務省「人口推計（令和6年4月1日現在）」）によると、総人口は約1億2,400万人であり、この5年間で約245万人減少しています。一方、65歳以上の高齢者人口は3,620万人に達し、高齢化率は29.2%に上昇しており、急速に進行する、人口減少と少子・高齢化はますます深刻な課題となっています。

これに対して、子育て支援や高齢者支援、地域経済の活性化、教育や福祉の充実など、幅広い取組が求められています。これらの施策を通じて、全世代が安心して暮らせる社会の構築を目指すことが重要です。持続可能な社会を実現するために、行政、企業、地域コミュニティが連携して取り組む必要があります。

2) 安全・安心なまちづくり

地震や集中豪雨、台風などの自然災害が頻発化、激甚化し、防災意識が全国的に高まっています。災害による被害を軽減するためには、国や地方自治体による「公助」、自分や家族で備える「自助」、地域コミュニティによる「共助」の連携が不可欠です。また、被害を最小化し、迅速な回復を図る「減災」の考え方も必要であり、災害に強いまちづくりが求められています。

加えて、消費者被害、空き巣、特殊詐欺などの犯罪被害に対しての不安要素が増大しており、地域での防犯意識の向上が求められています。これら地域の安全・安心に対する取組については、行政だけでなく、地域全体で互いに助け合い、連携しながら取り組むことが重要です。

3) 産業・労働環境の変化

近年、産業や労働環境は急速に変化しており、省力化や自動化技術の導入など、生産性向上を図る動きが加速しています。これに伴い、デジタル技術の進展が企業活動に大きな影響を与え、働き方改革の一環としてテレワークの普及も進んでいます。

一方で、地方においては、農林業や中小企業を中心に労働力不足が深刻化しており、人口減少や高齢化に伴う離農や耕作放棄地の増加が進行しています。これらの課題を解決するため、政府は企業誘致や地域の特性を生かした産業の支援を強化し、地域内での「ひと」と「しごと」の好循環を生み出す取組を推進しています。今後も、持続可能な労働環境の構築に向けて、産業と労働市場の変化に柔軟に対応する必要があります。

4) デジタル化の進展

ビッグデータ分析、IoT、AIなどのデジタル技術が急速に進歩し、これらの技術の社会への実装が加速しています。これにより、情報の迅速な共有や効率的な処理が可能となり、テレワークやキャッシュレス決済の普及、音楽や映画の視聴といったさまざまなサービスの提供など、業務の効率化や新たな価値の創出を図る取組が進められています。国は、こうしたデジタル化の進展によって実現される社会を「Society 5.0」と呼び、経済発展と社会課題の解決が両立する社会を目指しています。

持続可能な行政サービスの提供や地域が直面する諸課題の解決には、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が不可欠です。地域全体でデジタル技術の利活用を進め、市民生活の質を高めるとともに、すべての人々が活躍できる社会の実現が求められています。

5) 脱炭素社会への取組

我が国は、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目標に掲げ、温室効果ガスの排出削減に向けた具体的な取組を積極的に進めています。この目標に向けた中間目標として、2030年度までに2013年度比で46%の削減を目指し、さらに50%の削減に向けても挑戦を続けることが表明されています。この達成には、再生可能エネルギーの利用拡大や、省エネルギー技術の導入が不可欠であり、産業界や企業の協力だけでなく、私たち一人ひとりの行動も大きな役割を果たします。今後、市民、企業、行政が一体となって取り組み、持続可能な未来を築き、次世代に健全な地球を引き継ぐための具体的な行動が求められています。

6) 行財政運営

人口減少が急速に進むことに伴い、税収や地方交付税の減少が見込まれる一方、高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持・更新経費の増加に加え、人口減少に伴う課題への対応など新たな財政需要が見込まれています。

こうした中、将来にわたって持続可能な行財政運営を行うためには、歳入の確保に加え、歳出の効率化や、民間の資金やノウハウを最大限活用し、公費負担を最小化することが求められています。





前期基本計画に設定した成果指標について、計画期間中の各年度の実績及び最終年度（2024（令和6）年度末）の実績見込から達成率を算出し、達成状況に応じた分析を行うことで前期基本計画の振り返りを行いました。

前期基本計画策定時に設定した成果指標数：126項目

うち、最終年度の達成率が100.0%以上の数：43項目（34.1%）

うち、最終年度の達成率が90.0%以上の数：65項目（51.6%）

達成率90%以上となっている約半数の成果指標については概ね目標を達成されたといえます。しかしながら、残りの半数については計画期間中に一定の進展を見せたものの目標達成が十分ではありませんでした。

なお、基本方針ごとの成果指標数及び達成率は次のとおりです。

1. 未来へつなげる！市民の誰もが思いを実現し、健康で活躍できるまちづくり

（人権、福祉・医療、子育て、教育、スポーツ）

成果指標数	達成率 100.0%以上	達成率 90.0%以上
50項目	21項目（42.0%）	25項目（50.0%）

子育て分野や、福祉・医療分野で目標達成できたものが多い一方、市立図書館入館者数や、総合型スポーツクラブ加入者数など、目標達成できていないものが多くあります。

2. 元気な美馬！賑わいがあり「ひと」と「しごと」が好循環するまちづくり

（産業・経済、観光、交流）

成果指標数	達成率 100.0%以上	達成率 90.0%以上
23項目	7項目（30.4%）	14項目（60.9%）

産業・経済分野では農林業の施策で目標達成できたものが多い一方、雇用や就労、企業誘致施策において、目標達成できていない項目が多くありました。観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を達成できませんでしたが、コロナ禍の収束後には徐々に回復してきています。

3. 未来の暮らしを守る！安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり

（防災、社会基盤、地域コミュニティ）

成果指標数	達成率 100.0%以上	達成率 90.0%以上
41項目	13項目（31.7%）	21項目（51.2%）

防災や消防、上下水道の施策では、概ね目標を達成できた指標が多くありました。一方で「特殊詐欺防止のための講習会参加者数」や「デマンドバスの1日当たりの利用者」などの指標で、目標達成できませんでした。

4. 好きです美馬！市民が地域に愛着と誇りを持てるまちづくり

(自然環境、歴史・文化、国際交流)

成果指標数	達成率 100.0%以上	達成率 90.0%以上
7 項目	1 項目 (14.3%)	3 項目 (42.9%)

自然環境と歴史・文化の分野では、目標達成できた指標が多くありましたが、国際交流の分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020(令和2)年度から2023(令和5)年度まで、国際交流員が不在であったため、外国語講座などができておらず、目標達成できませんでした。

5. 未来のために！市民と行政がともに進める持続可能なまちづくり

(市民参画・協働、行財政運営)

成果指標数	達成率 100.0%以上	達成率 90.0%以上
5 項目	1 項目 (20.0%)	2 項目 (40.0%)

デザインなど、見やすさを追求したことにより、広報活動の施策は目標達成できました。一方で、市民参画に関する指標は募集の期間が限定的であるなど、市民の目に触れる機会が不足していたことから目標達成できませんでした。

【 持続可能な開発目標 (SDGs) 】

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) は、2015年に国連が採択した2030年までに達成すべき17の世界的な目標です。貧困の解消、ジェンダー平等、環境保護、持続可能な経済成長など、経済、社会、環境のバランスが取れた社会を目指しています。

本市の総合計画に示す基本理念や将来像の方向性は、SDGsの理念である「誰一人取り残さない社会」の実現と重なるものであることから、総合計画とSDGsの対応関係を明らかにし、総合計画を推進することによってSDGsの達成に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

